

第三十回 帝國議會 貴族院議事速記録第七號

大正二年三月十九日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第七號 大正二年三月十九日

午前十時開議

- 第一 刑事略式手續法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 愛知縣下郡廢置法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第三 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 民事訴訟法施行條例中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第六 產牛馬組合法改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第七 土地收用法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第八 未成年者飲酒取締ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第九 教育調査機關ノ設置ニ關スル建議案(子爵松平康民君外二名發議) 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

一昨十七日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

私立學校用地免租ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵奧平 昌恭君 副委員長 伊澤 修二君

同日議員子爵松平康民君外二名ヨリ百六名ノ賛成ヲ以テ教育調査機關ノ設置ニ關スル建議案ヲ發議セリ

昨十八日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

裁判所構成法中改正法律案外七件特別委員會

委員長 公爵德川 慶久君 副委員長 松岡 康毅君

會計検査院法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 山 脇 玄君 副委員長 安廣伴一郎君

貴族院議事速記録第七號

大正二年三月十九日

議長ノ報告 刑事略式手續法案 第一讀會

同日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ  
刑事略式手續法案

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

會計検査院法中改正法律案可決報告書

會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案可決報告書

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治四十五年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

明治四十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

愛知縣下郡廢置法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

民事訴訟法施行條例中改正法律案

產牛馬組合法改正法律案

土地收用法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、刑事略式手續法案、政府提出、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ提出文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

刑事略式手續法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正二年三月十八日

内閣總理大臣 伯爵山本權兵衛  
海軍大臣 男爵齋藤 實  
司法大臣 松田 正久  
內務大臣 原 敬  
外務大臣 男爵牧野 伸顯

刑事略式手續法

第一條 區裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ其ノ管轄ニ屬スル刑事ノ事件ニ付公判前略式命令ヲ以テ罰金、拘留又ハ科料ヲ科スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ沒收ヲ科シ其ノ他附隨ノ處分ヲ爲スコトヲ得「略式命令ハ被告人ニ其ノ正本ヲ送達シテ之ヲ爲ス但シ裁判所書記本人ニ正本ヲ交付シタルトキハ送達アリタルモノト看做ス

第二條 略式命令ノ請求ハ公訴ノ提起ト同時ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三條 裁判所ハ前條ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件略式命令ヲ爲スコトヲ得ス又ハ之ヲ爲スコトヲ相當ナラサルモノト思料スルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘシ

第四條 裁判所ハ略式命令ヲ發スル前被告人ニ對シ書面ヲ以テ其ノ豫告ヲ爲ス、シ

被告人ハ豫告ヲ發シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三日内ニ書面ヲ以テ異議ノ申出ヲ爲スコトヲ得

被告人遠隔又ハ交通不便ノ地ニ在ルトキハ裁判所ハ附加期間ヲ定ムルコトヲ得

第五條 略式命令ノ豫告ニハ被告事件、科スヘキ刑及附隨ノ處分並前條ノ期間内ニ異議ノ申出ヲ爲ササルトキハ略式命令ヲ爲スヘキ旨ヲ明示スヘシ

第六條 裁判所ハ異議ノ申出アリタルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘシ

裁判所豫告ヲ爲シタル後第三條ノ事由アリト思料スルトキ亦前項ニ同シ第七條 略式命令ニハ罪ト爲ルヘキ事實、適用スヘキ法令ノ規定、科スヘキ刑及附隨ノ處分並正本ノ送達アリタル日ヨリ五日内ニ正式裁判ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ明示スヘシ

略式命令ノ原本ニハ裁判所及年月日ヲ記載シ判事裁判所書記ト共ニ署名

捺印スヘシ

第八條 裁判所略式命令ヲ爲シタルトキハ檢事ニ其ノ正本ヲ送致スヘシ

第九條 刑事訴訟法第十九條ノ規定ハ略式命令ノ送達ニ之ヲ準用ス

第十條 略式命令ヲ受ケタル者ハ正本ノ送達アリタル日ヨリ五日内ニ正式裁判ノ申立ヲ爲スコトヲ得

刑事訴訟法第十五條乃至第十七條、第二百七條第二項、第二百四十七條及第二百四十八條ノ規定ハ前項ノ申立及其ノ期間ニ之ヲ準用ス

第十一條 正式裁判ノ申立ハ略式命令ヲ爲シタル裁判所ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

正式裁判ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スヘシ第十二條 正式裁判ノ申立ハ之ヲ拋棄シ又ハ第一審ノ判決アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第十三條 法律上ノ方式ニ違ヒ又ハ期間ヲ經過シタル正式裁判ノ申立ハ決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此ノ決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ニハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

正式裁判ノ申立ヲ適法ナリトスルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘシ裁判所ハ此ノ場合ニ於テ略式命令ニ拘束セラルルコトナシ

第十四條 正式裁判ノ申立ヲ爲シタル被告人公判ニ出頭セサルトキハ裁判所ハ對席トシテ裁判ヲ爲スヘシ

第十五條 正式裁判ノ申立ニ因リ判決アリタルトキハ略式命令ハ其ノ效力ヲ失フ

第十六條 略式命令ハ正式裁判ノ申立期間ノ經過又ハ其ノ申立ノ拋棄若ハ取下ニ因リ確定判決ト同一ノ效力ヲ生ス正式裁判ノ申立ヲ却下スル裁判確定シタルトキ亦同シ

第十七條 刑事訴訟法第二十條及第二十一條ノ規定ハ本法ニ依リ作ルヘキ書類ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣松田正久君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松田正久君) 刑事略式手續法案ニ付キマシテ、聊カ大體ノ説明ヲ致シタイノデゴザイマス、本案ハ全ク新規ノ法律案デゴザリマスルガ、此

法律案ヲ制定イタスノ必要ヲ認メマシタノハ何故デアルカト申セバ、凡ソ裁判所ニ於キマシテ受理イタス所ノ事件ハ、極メテ輕微ナル犯罪ニ致シテモ、一々正式ノ公判手續ヲ用キネバナラスコトニナツテ居リマス、斯ク致シテ見マズレバ雷ニ裁判所ノ其煩ニ堪ヘナイノミデハゴザイマセズ、其實ハ被告人ガ甚ダ迷惑ヲ致スコトガ往々アルノデゴザイマス、ソレ故ニ犯罪ノ性質ガ極メテ微小ナルコトデゴザイマシテ、即チ罰金拘留若クハ科料ニ該當スル如キモノハ正式ノ公判手續ヲ用キマセズ、略式手續ニ依リマシテ處分スルコトニ致シタイト云フ趣意デゴザリマス、斯クナリマスレバ裁判所ニ於キマシテハ事件ヲ處理スルノニ極メテ敏活ナル運ビトナリマスルシ、又同時ニ被告人ニ於キマシテモ一々裁判所ノ呼出ニ應ズル所ノ時間ト費用トヲ節約スルコトガ出來マシテ官民共ニ便利ヲ得ルコトガアルノデゴザリマス、併シナガラ此略式手續ノ處分ニ不服ヲ申シマスル人ハ何時ニテモ直チニ正式ノ公判手續ヲ求ムルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、故ニ被告人ノ權利ヲ敢テ害スルコト云フコトハナイ積リデゴザリマス、其内容ニ於キマシテハ條文ニ明ニ致シテゴザリマスルカラ、何卒御審議ノ末、速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタス次第デゴザリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ裁判所構成法中改正法律案外七件ノ委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、愛知縣下郡廢置法律案、政府提出衆議院送付、第一讀會

愛知縣下郡廢置法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
大正二年三月十八日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

愛知縣下郡廢置法律案

愛知縣尾張國海東郡及海西郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ海部郡ヲ置ク

附則

貴族院議事速記録第七號

大正二年三月十九日

愛知縣下郡廢置法律案 第一讀會  
會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 此法律案ハ極メテ簡單ナル法律デアリマスガ、愛知縣ノ海東郡ト海西郡ヲ廢シマシテ更ニ海部郡ヲ置クト云フ法案デゴザリマス、是ハ唯今存在イタシテ居ル所ノ海東海西ノ兩郡ハ餘ホド古キ以前ニハ二郡ニハ分レテ居ラナカッタノデアリマスルガ、其後唯今ノ二郡ニ分レタノデアリマス、サリナガラ郡制施行以前ニハ此二郡ヲ合セテ一郡役所ヲ置イテアッタ位ノ所デアリマス、兩郡トモ極メテ風俗人情ノ相似テ居ル所デアリマスルバカリデナク、人口モ亦少ウアリマシテ、之ヲ二郡ニ分ケテ置キマスルコトハ、甚ダ經濟上ニモ宜シクナイ状態ニアルノデアリマス、故ニ之ヲ合シテ海部郡ト云フ一郡ヲ置キマスルコトハ、此地方ノ多數人民ノ希望デモアリマスルシ、又行政上二郡ヲ合シテ一郡ト致シ一郡役所ヲ置クト云フコトハ最モ適當ナル處置ト考ヘマスル、又郡ノ經濟ニ取リマシテモ縣費郡費等ニ於テ少カラヌ減額ヲ來タス次第デアリマス、故ニ地方官等ノ意見モ徵シマシタガ、此二郡ヲ合スルコトハ極メテ適當ナリト云フ答申ヲ得マシタ譯デアリマスカラ、今期議會ニ提出イタシマシテ此二郡ヲ合シテ海部郡ノ一郡ヲ置クト云フ法案ヲ提出シマシタ次第デアリマス、御審査ノ上ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

〔仙石書記官朗讀〕

愛知縣下郡廢置法律案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵土御門 晴榮君

深野 一三君 男爵清水 資治君

阪本 鈺之助君 由雄 元太郎君

小野田 元熙君  
谷 森 眞 男君  
伊 藤 由 太 郎 君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、會計検査院法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、第四、會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

會計検査院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長

山脇 立

會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月十八日

右特別委員長

山脇 立

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○安廣伴一郎君 山脇委員長ガ御出席ガゴザリマセスカラ私ガ報告ヲ致シマス、兩案共ニ昨日一回委員會ヲ開キマシテ直チニ可決ヲ致シマシタ次第デアリマス、第一ノ會計検査院法中改正法律案ハ會計検査院ノ今マデノ三部ゴザイマシタノヲ一部ヲ減ジマシテ二部ト致シマス其結果、部長ガ一名減ジマシテ、検査官ガ十二人ヲ八人ニ致シマシテ四名減ジマシテ、副検査官ヲ二名減ジマシテ、十八人ヲ十六人ト致スト云フ案デゴザイマシテ、多少ノ質問ハゴザリマシタガ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デアリマス、第二ノ會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案デゴザリマスルガ、是ハ唯今申上ゲマス通り此會計検査院ノ部ヤ員數ヲ減ジマスルガ爲ニ剩員ヲ生ジマスルノト、ソレカラ行政裁判所ノ方モ定員ヲ減少イタシマスル結果、剩員ヲ生ジマスルカラ致シマシテ、其二ツヲ兼ネマシテ會計検査院ノ方ノ五人、ソレカラ行政裁判所ノ高等官ノ方ガ八人デゴザイマス、此検査院ノ内ノ五人ト申シマスルノハ部長ト検査官ヲ兼テ居リマス、ソレガ五名減ジマスル、五名ダケヲ限リテ休職ヲ命ズルコトヲ得、ソレカラ行政裁判所ノ方ハ八人ダケヲ減ジマスノデ八人ニ限リテ休職ヲ命ズルコトヲ得ト云フ案デゴザイマス、此一條二條ニ依ッテ休職ヲ命ゼラレマシタ所ノ者ハ、休職給ニ依ッテ現俸三分ノ一ヲ給シマスルノト、尙ホ二十五年以上勤メマシタ者ハ二分ノ一マデヲ給スルト云フコトニナッテ居リマス、此二十五年以上勤メマシタ者ニ二分ノ一マデヲ支給スルト云フコトハ、行政裁判所ノ方ハ設立以來マデ二十五年ニナッテ居リマセスカラ適用ハゴザイマセスノデ、會計検査官ノ方ニミ適用イタシ

マス次第デアリマス、是モ多少ノ質問ハゴザイマシタガ、全會一致ヲ以テ可決ニナリマシタ次第デアリマス、此段御報告イタシマス、尙ホ兩案共ニ簡單ナル案デゴザイマスカラ、讀會省略ヲ以テ議決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ賛成ヲ致シマス

○子爵本多實方君 賛成

○兒玉淳一郎君 賛成

○藤田四郎君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵石黒忠恵君 賛成

○男爵武井守正君 賛成

○富井政章君 賛成

○侯爵黒田長成君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 安廣君ノ兩案トモ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 兩案トモ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五、民事訴訟法施行條例中改正法律案、

衆議院提出、第一讀會

民事訴訟法施行條例中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正二年三月十八日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

民事訴訟法施行條例中左ノ通改正ス

第十二條 削除

附則

本法ハ大正二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本法施行前提起シタル上告ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

〔政府委員小山溫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小山溫君) 本案ハ民事訴訟ニ付キマシテ上告ヲ致シマスルトキニ豫納金ヲ納メマスル、其豫納金ヲ廢止スルト云フ趣旨デ衆議院ヨリ提出ニナリマシタノデゴザイマス、元來民事訴訟法施行條例ノ第十二條ハ明文ニモゴザイマスル通り明治十年ノ布告ヲ其儘當分ノ内效力ヲ有スト云フノデ存ゼシメテアッタノデゴザイマス、上告ノ濫起ヲ防ギマスル爲ニ設ケタノデアリマシタガ、今般提出ニナリマシタ構成法ノ改正ニ依レバ上告ハ大審院ニ統一セラレルコトニ相成リマスルコトニナリマスカラ、上告ノ濫起モ幾分之二依ッテ防止スルコトニ相成リマセウト心得マス、從ッテ本案民事上告ニ對シマスル豫納金ハ廢止イタシマスルノガ適當ナ時機ト考ヘマシテ政府モ同意ヲ表シマシタ譯デアリマス、一應申上ゲテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ日程第一ノ法案ノ特別委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六、産牛馬組合法改正法律案、衆議院提出、第一讀會

産牛馬組合法改正法律案  
右本院提出案及送付候也

大正二年三月十八日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

産牛馬組合法

第一條 牛又ハ馬ノ生産ニ從事スル者ハ本法ニ依リ組合ヲ設置スルコトヲ得

組合ノ地區ハ郡市以上ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第二條 組合ハ牛馬ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

監督官廳ハ必要ト認ムルトキハ組合ヲシテ種牛馬ノ供給、牛馬ノ系統登錄若ハ牛馬ノ共濟保險ヲ爲サシメ又ハ糶場ヲ設ケシムルコトヲ得

第三條 組合ヲ設置セムトスルトキハ其ノ地區内ニ於テ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ牛ノ生産ニ從事スル者及馬ノ生産ニ從事スル者相合シテ組合ヲ設置セムトスルトキハ各別ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第四條 組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ

第五條 組合ノ經費ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

第六條 組合ニ於テ負債ヲ起サムトスルトキハ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第七條 組合ハ相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

組合聯合會ノ經費ハ聯合各組合ノ負擔トス

第八條 主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ地方又ハ地區ヲ指定シ組合又ハ組合聯合會ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第九條 組合及組合聯合會ノ普及發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ主務大臣ノ認可ヲ受ク組合中央會ヲ設クルコトヲ得

組合中央會ハ組合及組合聯合會ヲ以テ會員トシ其ノ經費ハ會員ノ負擔トス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ本項以外ノ者ト雖會員ト爲ルコトヲ得

第十條 組合、組合聯合會及組合中央會ハ法人トシ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 監督官廳ハ何時ニテモ組合又ハ組合聯合會及組合中央會ノ事業ニ關スル報告ヲ徴シ事業ニ付認可ヲ受ケシメ事業及財産ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 組合、組合聯合會又ハ組合中央會ノ決議若ハ役員ノ行爲ニシテ法令、行政官廳ノ命令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ監督官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 決議ノ取消

二 役員ノ解職

三 組合、組合聯合會又ハ組合中央會ノ解散又ハ其ノ業務ノ停止

第十三條 組合及組合聯合會ハ地方長官ニ組合中央會ハ主務大臣ニ各其ノ事務ニ關シ建議スルコトヲ得又諮問アルトキハ答申スヘシ

第十四條 本法ニ規定スルモノノ外組合、組合聯合會又ハ組合中央會ノ設立、管理、分合、解散、清算其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 第四條ノ規定ニ違反シタルモノハ二圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附則

第十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治三十三年法律第二十號產牛馬組合法ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス第十七條 前條第二項ニ依リ設ケタル產牛馬組合又ハ產牛馬組合聯合會ハ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

〔政府委員道家齊君演壇ニ登ル〕

○政府委員(道家齊君) 此本案ニ付キマシテハ、昨年既ニ提出ニナリマシタモノト全ク同様ナ案デゴザイマシテ、此儘實行ニナリマスルト法文上不備ノ點ガゴザイマシテ運用上ニモ差支ガゴザイマセウト考ヘマスノデ、又政府ニ於キマシテモ本案ハ早晚改正ヲ要スルコトノ考デ、目下取調中デアリマスカラ、旁、本案ニハ政府ハ同意ヲ表シ兼ネル次第デゴザイマス、政府ノ所見ヲ豫メ玆ニ表明イタシテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔仙石書記官朗讀〕

產牛馬組合法改正法律案特別委員

伯爵島津 忠麿君 子爵勘解由小路資承君 子爵板本 武憲君

男爵辻 新次君 男爵岩倉 道俱君 三宅 秀君

岩村 兼善君 石橋 謹二君 佐藤 源藏君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七、土地收用法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

土地收用法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正二年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

土地收用法中左ノ通改正ス

第二條第四號中「軌道、」ノ下ニ「索道、」ヲ、「下水、」ノ下ニ「市場、」ヲ加ヘ、

「電氣機、」ヲ「電氣裝置、」ニ、「瓦斯燈、」ヲ「瓦斯裝置、」ニ改ム

第五十五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ索道ノ爲空間ヲ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラス

〔政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 本案ニ對シマシテハ政府ハ同意ヲ表シタノデアリマスル、其理由ハ極簡單ナ案デゴザイマスガ、「軌道」ノ下ニ「索道」ヲ加ヘマシテ「下水」ノ下ニ「市場」ヲ加ヘルト云フ、即チ今日等ノ點ニ付キマシテハ收用法上ニ不備ヲ認メテ居リマスノデ之ヲ加ヘルコトハ適當ナリト考ヘタノデアリマス、其他ノ「電氣機」ヲ「電氣裝置」ニ、「瓦斯燈」ヲ「瓦斯裝置」ニ改メルノハ文字ノ不備ヲ補ツタノデアリマシテ、是亦適當ト考ヘマシタノデ、之ニ同意ヲ表シマシタ、五十五條ニ但書ヲ加ヘマシタノハ「索道」ヲ加ヘタ結果、斯ル修正ヲ爲ス必要ガアルノデゴザイマスカラ、此法案ニ對シマシテハ政府ハ同意ヲ表シタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔仙石書記官朗讀〕

土地收用法中改正法律案特別委員

子爵松平 乘承君 子爵青山 幸宜君 子爵京極 高備君

男爵南岩倉 具威君 加藤 恆忠君 高木 豐三君

江原 芳平君 廣瀬 滿正君 佐藤 助九郎君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、未成年者飲酒取締ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正二年三月十八日

右特別委員長

伯爵 德川 達孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 未成年者飲酒取締ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ昨十八日ニ開キマシテ慎重ニ審議ヲ致シマシタ、私ガ申スマデモナク本案ハ年々歳々衆議院ヨリ本院ニ回ッテ參リマサル案デゴザイマス、別ニ政府ノ意向ヲ尋ネマスル必要モゴザイマスマイガ、併シ一應政府ノ意向ヲ尋ネマシタ、政府ニ於テハ本案ニ同意スルト云フコトデゴザイマス、併シ此内務省ノ方ノ側ノ意見ヲ承リマスレバ、以前本案ガ提出ノ時分ニハ取締上大ニ困難ヲ感ズルコトデ賛成ガ出來ナカッタガ、此度ノ案ハ……是ハ二三年以來出マスル法文デアリマスガ、是ハ大ニ取締上ニ困難ヲ感ゼス、此法律案ガ法律トナッテ施行サレル曉ニハ取締上ニ於テ左ホド困難ヲ感ゼズ出來ルコトデアル、且又斯ノ如キモノガ國法上決マレバ未成年者ヲシテ酒ヲ飲ンデハ惡ルイト云フ觀念ヲ與ヘルニ於テ、教育上竝ニ修養上ニ於テ家庭ニ於テ取締ルト同時ニ、一方ニ於テハ法律ヲ以テ取締ルト云ヘバ兩方相須ッテ必要デアル、斯ウ云フ意味デ内務省ノ側ニ於テハ賛成ヲ表サレタ次第デアリマス、又文部省ノ方ノ意見ハ明治四十二年ニ文部大臣ヨリ各學校ニ飲酒ノ弊害ノコトニ付イテ訓令ヲ出シタコトガアル、又其後明治四十五年ヨリ此小學校デ用キル所ノ讀本トカ若クハ修身書ト云フモノモ飲酒ノ弊害ヲ教ヘテアル、一方ニ於テハ斯ノ如ク學校ニ於テ取締ヲシ、一方ニハ法律ニ於テ取締ヲスルト云フコトニナルト、是亦内外相應ジテ殊ニ必要ノコトデアル、斯ノ如キ意味デ賛成ヲスル、斯ウ云フ譯デアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ、イロ／＼質問モゴザイマシタガ、ソレハ速記録ニゴザイマスカラ、ドウゾ詳細ノコトハ速記録デ御承知ヲ願ヒマス、ソレヨリ討論ニ移リマシテ、賛成論者ノ申サレル所ノ意見ノ大要ハ、本案ハ政府委員ノ申サレル如ク取締上ニ於テモ左ホド困難ヲ感ゼズ、且又教育上、修養上ト相須ッテ未成年者ノ飲酒ヲ取締ルカラ誠ニ結構デアル、併ナガラ假令此法律ガ施行サレテ取締ガ十分ニ出來ルニ

シテモ、又一方ノ修養上、竝ニ教育上ニ於テノコトハ、各府縣ハ勿論、政府ニ於テモ十分ニ注意ヲシテ貰ヒタイ、斯ノ如キ希望ヲ以テ賛成ヲスルト云フ意見ヲ述べラレタ御方モゴザイマス、ソレニ本年ハ昨年御反對ヲナサレタ委員ノ御方ノ内デモ御賛成ノ御方ガゴザイマス、反對ノ方ノ御方ハ別ニ御意見ハ御述べハゴザイマセヌデシタ、御意見ガアルカト思ッテ御尋ネ申シタ所ガ例年ト同ジヤウナ譯デアルカラ別ニ意見ハ申サヌ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、併シ段々考ヘテ見マス、斯ノ如キモノハ法律ヲ以テ律スベキモノデナイ、教育上竝ニ家庭ニ於テ十分ニ取締ルベキモノデアルト云フヤウナ意味デアラウト竊ニ御察シ申ス次第デアリマス、斯ノ如キ次第デゴザイマシテ、討論ガ濟ミマシテ採決ヲ致シマシタ所ガ、二名ニ對スル五名ノ多數ヲ以テ本案ハ可決スベキモノト議決ニナッタ次第デゴザイマス、先ヅ御報告申スコトハ斯ノ如クデゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 本案ニ付イテ賛成ノ意見ヲ述べタウゴザリマスガ、此席デ宜シウゴザイマスカ、……簡單デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ望ミマス

○子爵曾我祐準君 反對ノ方ノ意見ハゴザイマセスカ

○議長(公爵德川家達君) 別段通告ハゴザイマセス

〔三宅秀君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ニ唯今許シマシタカラ……

○議長(公爵德川家達君) 唯今、曾我子爵ガ反對論ガアルナラバ其方カラ先キニ願ヒタイト云フコトヲ議長ヘ……

○三宅秀君 本員ハ反對ヲ申シタイノデアリマス、反對ヲ致シマスル積リデゴザイマスガ、成ルベクハ賛成論ガアリマシタナラバ其後ニ申シタウゴザイマス、併シ先鋒ヲ御許シ下サルナラバ反對ヲ先キニ述べマシテモ宜シウゴザイマスガ……

○子爵曾我祐準君 妙ナ理窟ニナリマシタガ、私ハ別ニ前キヲ爭ヒハシマセヌガ、委員長ガ唯今賛成ノ報告ヲナサレマシタニ依ッテ、反對ガアレバ此際ナサルガ當リ前ノ順序ダト思フ、ソレ故ニ私ハ前キニ發言ヲ許サレタケレドモ相成ルベクハ反對論ヲ前キニ伺フノガ順序ト思ウテ申シマシタ、併シ御希望ナラバ申シテモ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 一言申上ゲマセウ、議長ハ別ニ賛否ノ通告ガゴザ

イマセヌ故ニ、曾我子爵ガ發言權ヲ求メラレマシタカラ曾我子爵ニ發言ヲ許シマシタ、併シ曾我子爵ノ御述ベノ如ク反對論カラ發言ヲセラル、ガ順序ト存ジマスカラ、三宅君ノ登壇ヲ望ミマス

## 〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテハ年來反對ヲ致シマスル者デアリマスガ、決シテ本案ヲ不俱戴天ノ仇ノ如ク存ジテ居ルノデハナイノデアリマス

## 〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

本案ノ精神ハ大ニ愛シテ居リマスルノデ、愛シテ居リマスル故ニ、度々此案ニ對シテ苦イ意見ヲ出ダシテ居ルノデ、丁度可愛イ子ニ旅ヲサセルト云フ俗ノ諺ノ如クニ、成ルタケ苦シメタナラバ、モウ少シ健全ニ發達ヲシテ丈夫ナ案ニナルガラウト存ジテ、毎年其意見ヲ出ダシテ居ル積リナノデアリマス、ドウゾ私ノ今日反對ヲ致シマスルノハ其精神ヲ以テ御聽取リヲ願ヒタイ、此案ヲ無暗ニ打ツ潰サウト云フヤウナ譯デハ決シテ無イノデアリマス、ソレカラ又年來此案ハ當議場ニ於テ潰レマスケレドモ、當年ハ大ニ優勢ニナツテ參ッテ居リマス、既ニ委員長ノ御報告ニモアリマシタ如ク、年來反對シテ居ラレル御方ガ當年ハ賛成ノ方ニ傾ケラレタ位デ、其他同志ノ諸君ニ出會ヒマスルト、折々話ガ出マシテ、本年ハ之ヲ賛成シヤウデヤナイカト云フヤウナ御論モ大分ニ承ツテ居リマスルカラ、當年ハ到底、私ハ敗軍イタスコト、思ツテ實ハ討死ノ覺悟デ登壇イタシテ居リマス、討死ノ覺悟ナラバ一言モセズニ死ンデモ宜カリサウナモノデアリマスケレドモ、私ノ意志ノ在ル所ヲ皆サンニ御聽取リヲ願ヒタイノデ、殆ド私ノ遺言ト思召シテ暫時ノ間、御清聽ヲ煩ハシタイノデアリマス、私ノ方ハ一生懸命デアリマス、何故ニ毎年意見ヲ出ダスカト云フト、本案ハ頗ル不備デアリマス、法律ト致シテハ私ガ見マシテモ餘ホド不備ナル所ヲ發見イタシテ居リマス、毎度當議場ニ於キマシテ政府委員トノ間ニ此酒類ト云フ酒ノ類ノ定義ヲ質問應答サレルコトガアリマシテ、或ルトキハ甘酒、白酒ナドガ出マシテ議場ノ笑ヲ招グヤウナコトニナツテ居リマスルガ、決シテ笑フベキ案デハナイノデゴザイマス、是ハナカク重イ案ト私ハ考ヘテ居ル、此酒類ノ定義ヲ關イテ居リマスルヤウナ不備ノ法律ハ、ドウシテモ出サレナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ今一ツノコトハ未成年者ト云フ年齢ノ關係デアリマス、是マデ酒ノ害ハ度々詳密ニ御述ベニナツテ居リマスカラ、私ハ決シテ繰返シハ致シマセヌガ、年齢ト男女ニ依ツテ多少、酒ノ害ハ違

ヒガアル筈ノモノデアリマス、ソコデ茲ニ未成年者ト云フ字ガ使ツテアリマスを、是ハ十九マデハイケナイガ、二十ニナルト宜イトカ、或ハ滿二十ヲ過去ツタトキ、二十一歳カラハ酒ヲ飲ンデ宜イトカ云フコトニ此法律ハナルト考ヘマスルガ、二十、二十一ノ所ニ段階ノ左ホドエライ違ヒハナイ、年ガ若ケレバ若イホド、年ガ少ケレバ少イホド酒ノ害ガ強イノデアリマス、ソコノ所ヲ能ク御承知アラムコトヲ希望イタスノデアリマス、酒類ノ定義ガ關ケテ居ルト云フコトヲ申シマスルト、元々飲酒ノ害ヲ唱ヘル人ハ強イ酒ニ向ツテ禁酒論ヲ立テ、居ルノデアリマス、是ハ前回ニモ私が申シマシタガ、日本ノ酒ハ強イ方ノ酒デハゴザリマセヌ、清酒ハ格別強イ方デハゴザイマセヌ、アルコホール分ガ百分中十四乃至十五クラキノ所ニ止ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ幼年ノ者ガ清酒ヲ飲ミマシタナラバ必ズ害ガゴザイマセウ、私ハ本案提出者ト全クソコハ同意デアリマス、ソコデ清酒ヨリ弱イ所ノ麥酒……「ビール」ハドンナ物カト云ヒマスレバ、日本ノ「ビール」ハ大概アルコホール分ハ百分ノ四乃至五グラキノ所デアリマス、獨逸アタリノ「ビール」ハ氣候ノ加減デ、酒氣ガ薄クテモ持チマスカラ至ツテ「アルコホール」分ガ少イノデアリマス、其故デアリマスカ、獨逸ノ孤兒院ノヤウナ所、育兒院ノ如キ所デモ、獨逸デハ酒ヲ飲ミマスルコトヲ平氣デ濟マシテ居ル、日本ノ「ビール」ノ中デ一番「アルコホール」分ノ少イノハ札幌ノ「黒ビール」ト云フノデアリマス、札幌ノ「黒ビール」ト申シマスノハ百分ノ三・九六ト云フノデ、……殆ド四デアリマス、札幌ノ「黒ビール」ガ先ヅ一番日本ニアル「ビール」デハ弱イノデアリマス、決シテ私ハ其札幌ノ「黒ビール」ヲ子供ニ飲マセヤウトハ思ハヌノデアリマス、是ハ矢張り原案者ト同説デアリマス、トコロガ賣ツテ惡ルイ方ノ酒ノ種類ニ必ズ這入ルダラウト思フノハ、例ノ白酒デアリマス、毎年此案ガ三月ノ雛祭り前後ニ出ルモノデアリマスカラ、イツデモ白酒トノ關係ヲ此案デ述べナケレバナラヌヤウナ譯デアリマスカ、第一雛祭りト云フモノハ隨分、私ハ大切ナモノデアラウト思フノデアル、是ニ婦女子ガ集ツテ白酒ヲ用キルノ古クカラノ例ニナツテ居ル、サテ其白酒ト云フモノハ、ドノクラキ「アルコホール」分ヲ含ンデ居ルカト云フト、百分ノ六・九七殆ド七「プロセント」バカリ「アルコホール」分ヲ含ンデ居リマス、サウ致シマスレバ白酒ハ未成年者ニハドウシテモ惡ルイト云フコトニナツテ來ル、此案ヲ實行シヤウトスルト、ドウシテモ白酒ハ賣ラレヌコトニナツテ來ルノデ……白酒ハ三月バカリアルカト申シマスルト、正月ア

タリカラ山川白酒ノ看板ヲ懸ケテ市中デ廣ク賣ッテ居リマス、正月家庭ガ團樂シ、一家ガ和合シテ祝ヒラシ、彼是イタシマスルニハ隨分關ケベカラザルモノカト存ジマスルガ、此法案ヲ實行スルニ於テハ、白酒ハ無論賣ッテ惡ルクナルダラウト、私ハ假定シテ居リマス、其白酒ニ付イテ私ハ國庫ノ收入ヲ少シ調ベテ見マシタ、私ドモノ手許ニ毎年豫算參考書トシテ御渡シニナリマス物ノ中デ、四十二年、三年、四年、五年、大正二年、此五箇年ノ參考書ヲツツ繰テ見マス云フト、白酒ノ稅ト云フモノハ四十二年度ハ……豫算デアリマス、ケレドモ七萬四千七百二十圓、四十三年度ニハ九萬九百五十三圓……殖エテ居リマス、四十四年度ニハ更ニ殖エマシテ十三萬二千二百十五圓ニナッテ居リマス、其次ノ年ニハ十三萬三千六百圓ト殖エテ居リマス、其次、本年我々ノ手許ニ渡ッテ居リマス參考書ヲ調ベマス、白酒ノ稅バカリガ十三萬五千四百三十二圓トナッテ居リマス、年々此稅ハ默ッテ居ッテ殖エテ行ク、國家ノ收入ニナッテ居ルノデアリマス、デ、僅バカリ……十三萬グラキノ稅デアルカラ、是ハ賣ラセナイヤウニシテモ格別差響キハ無イト言ハレルカモ知レマセヌケレドモ、今日デハ減稅減稅ト呼聲ガ非常ニ高ウゴザイマス、其減稅ニナル高ハドノ位カト云ヒマス、格別ノモノデハナカラウカト私ドモハ察シテ居ルノデアリマスガ、其喜ンデ納メテ來ル所ノ稅ヲ捨テ、サウシテ人ノ嫌ヤガル稅ヲ重ク課スルヨリハ、寧ロ自然收入トシテ、斯ウ云フ工合ニ增收ノアルモノ、方ヲ助ケタ方ガ國家經濟ニ取ッテ格別御損デハナカラウト思フノデアリマス、此邊ノ所ヲ少シモ大藏省トモ御相談ナシニ、此法案ヲサウ云フ所ニ論及シナイデ、スラノト通シテ御仕舞ヒニナルノハ、私ガドウモ一言、此遺言狀ヲ殘シテ置カナケレバナラス所以ナノデアリマス、ソレカラ「アルコホール」分ノコトニ付キマシテハ、ドノ位ノ程度マデ嚴重ニ此酒類ト云フモノ、中ニ御入レニナルカ能ク分リマセヌガ、今マデ酒ノ方ノ種類ニ這入ッテ居リマス物ノ中デ、香竈葡萄酒ト云フ酒ガアリマス、此香竈葡萄酒ト云フ酒「アルコホール」分ハ僅ニ百分ノ一・一三ト云フモノニナッテ居リマス、其百分ノ一・一三ト云フモノモ、矢張り此酒類ト云フ中ニ這入ルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、稅法カラ言ヒマス、無論是ハ這入ッテ居ルモノダラウト思ヒマス、酒精含有飲料稅ト云フ稅法ノ方カラ申シマスレバ必ズ是ハ相當ノ稅ヲ納メナケレバナラスコトニナッテ居ルダラウト思ヒマスガ、禁酒ト云フ方ノ側カラ御取締ニナル時分ニ、之ヲ飲マセヌ方ニ御入レニナルカ、飲マセル方ニ御入レ

ナニルカ、ソコノ所ガ至ッテ不明デアリマス、又果實酒ト云フ酒ガアリマス、此果實酒ト云フ酒ハ隨分強イ果實カラ採リマシタ酒デ、多分ハ「アルコホール」分ヲ含ンデ居ルモノモアリマスガ、其中、極低イ所ヲ調ベテ見マス、長野縣デ出來マス生杏酒ト云フ生ノ杏カラ採ッタ酒ガゴザイマス、此生杏酒ト云フモノハ至ッテ「アルコホール」分ハ少ウゴザイマスガ、ソレデモ百分ノ一・三七ゴザイマス、百分ノ一以上含ンデ居ルノデゴザイマス、果シテ斯ウ云フ種類ト云フモノ、中デ一・三七グラキアル酒デモ禁ズル精神デアリマセウカ、至ッテ不明デアリマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

ソレカラ毎度コ、デ問題ニナリマス甘酒デゴザイマス、甘酒ト云フモノハ酒デゴザイマセヌガ、是カラ先キ一步ヲ進メバ酒ニナルト云フ所デ喰止メテゴザイマス、「アルコホール」ヲ含ンデ居ナイガ當然ナ譯デアリマス、故ニ此法令ガ實行サレマシタ曉ニ甘酒ハ決シテ制限ナサラヌダラウト思ヒマス、然ルニ誠ニ是ガ危險ノ基ダラウト深ク心配イタシマス、甘酒ト云フモノハ酒ニナル性質ヲ有ッテ居ル、讀ンデ字ノ如ク、最初ハ甘イガ終ヒハ酒ニナルベキ性質ノモノデアリマス、少シ醗酵ヲ止メズニ置キマス、一夜ノ中ニ「アルコホール」分ヲ含ムヤウニナリマス、若シ些バカリノ「アルコホール」分ヲ含ンダ時分ニハ直グ此法律ニ觸レルヤウニナリハシマスマイカ、或ハヅルイ者ハ法網ヲ潜ル爲メニ、ツイ通り越シマシタト云フ訛デ濟ンデ仕舞フヤウニナリマシテハ、法ノ精神ガ徹底シナイモノト私ハ考ヘマス、ソレカラ外國デ禁酒ノ連中ガ葡萄酒以外ノモノデ「アルコホール」ヲ含マナイモノヲ飲ンデ居リマス、是ハ一種ノ果實汁デアリマス、果實ノ汁デアリマス、私ノ記憶シテ居ルノデハ「オレシ」ノ搾リ汁ニ苺ノ搾リ汁ヲ入レマシテ、赤イ色ノ殆ド葡萄酒ト同ジヤウナ外見ノモノヲ拵ヘル、是ハ決シテ「アルコホール」ヲ含ンデ居リマセヌカラ、禁酒黨ノ人ガ飲ムニハ至極適シタモノデゴザイマセウ、ケレドモ是モ矢張り葡萄酒ニナラウト云フ前支度ノ所デアリマスカラ、聊カ日ヲ經タモノヲ飲ミマス、必ズ醗酵イタシマス、我々下戸ハソレヲ飲ンデモ醗酵イタシマス、シテ見マスルト、日本ノ甘酒同様デ、是モ聊カ日ヲ經タモノハ「アルコホール」ヲ含ンデモ宜イト云ウテ默許サレマスカ、ドンナモノデアリマセウカ、甚ダ疑ハシイト存ジマス、現ニ日本デ今、果實汁ト云フモノヲ分析イタシタノヲ見マス、甲州デ出來マス葡萄酒、此甲州デ出來マス葡萄酒ト云フモノハ「ア

ルコホール」ヲ含ンデ居リマセヌ、ケレドモ桑實汁、桑ノ實ノ搾リ汁デアリマス、此桑實汁ト云フモノハ「アルコホール」ヲ含ンデ居リマス、而カモ前ニ舉ゲマシタ所ノ生香酒ト云フ杏ノ酒ヨリモ餘計ニ含ンデ居ルト存ジマス、些デハアリマスケレドモ……、斯ウ云フ桑實汁ハ「アルコホール」ヲ含ミマスコト一・六一デアリマス、是ガ酒造税法カラ云ヒマス酒精含有飲料ト云フ方ニ這入ッテ居リマスカドウカ分リマセヌガ、桑實汁ト云フモノハ或ハ酒精含有飲料ノ以外ニ見ラレテハ居ルマイカ知ラス、若シ取締ヲ嚴重ニスル場合ニハ、サウ云フ果實汁モ此飲酒法ノ中ニ入レテ嚴重ニ取締ラナケレバナラヌダラウト思ヒマス、内務省ガ大ニ安請合ヲナサツタ所ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、ソコマデ詮ジ詰メラレテ居ルカ、御研究ガ届イテ居リマスカ否ヤ、内務省ガ安請合ヲシタカラ此案ヲ通過シロト云フコトハ、私ハ誠ニ力ノ無イコト、思フノデアリマス、此意味ヲ以チマシテ酒ト云フモノ、定義ガ……酒類ト云フモノ、定義ガ餘ホド取締ガ嚴重ニナツテ、ソレニモ拘ラズ嚴重ニ行ヘルカト云フコトマデ突止メナケレバ輕々ニ此案ハ通過サセラレナイモノト存ジマス、此關點ヲ一ツ指摘イタシマス、ソレカラ第二ノ問題ハ未成年ト云フ年齡ノ問題デアリマス、提出者ガ外國ノ例ヲ澤山御引キニナツタ中ニ、外國デハ十四クラキマデノ年齡ニハ飲マセナイ、ソレマデノ間ハ禁ジテ居ル、ソレカラ先キノ働キ盛リニナツテ來ルト酒ヲ飲マセル所ガ澤山アルヤウニ承リマシタ、トコロガ一朝此案ガ通ッテ厲行サレル曉ニハ働キ盛リノ青年者ハ酒ヲ飲ムコトガ出來ヌノデアリマス、學校兒童ノ取締ハ文部省デ十分付イテ居ルト云フ明言デアリマスカラ、私ハソレヲ信ジマス、又中學校ヘデモ這入ラウト云フ年齡ノ者ハ更ニ嚴重ナ取締ガ出來テ居ルダラウト信ジマスカラシテ、ソレデ宜シイ、私ガ茲デ許シテヤリタイノハ、詰リ青年ノ漁夫、農夫又ハ職工ト云フヤウナ働キ盛リノ者ニハ唯一ノ是ガ慰藉品デアルト思ヒマスカラシテ、此若イ働強ノ手合ヒ、我國ノ生産ヲ増シテ、サウシテ昨日モ大藏大臣ガ御演說ニナリマシタ如クニ、我國ノ經濟上ノ頗ル不都合ナ點ハ殖産興業ニ依ッテ之ヲ補ッテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ申サレマシタガ、私ドモモソレハ全ク御同感デアリマス、サウシテ見マスルト云フト、學校ニ這入ッテ不生産的ニ未ダ學問ヲシテ居リマス者ハ學校ノ方デ取締ッテ貰ッテ、漸クニシテ小學校ヲ終ッテ、ソレカラ親ノ手助ケナリ、或ハ親ガ居リマセヌ者ナラバ自分ガ働イテ糊口ノ途ヲ立テ、居リマサウナ働ク人間ニ向ヒマシテハ、是非コレハ許シテ欲シ

イノデアリマスカラ、若シ農商務省アタリノ見ル所モ御參酌ニナラズニ、此案ヲ輕々ニ通過サセテ仕舞ッテハ私ハ不十分デハナイカ知ラス、農商務省ガ專ラ職工ヤラ或ハ漁夫、農夫ノ如キハ責任ヲ有ッテ御居デニナル、殖産興業ノ中樞ヲ握ッテ居ラル、所デアリマスカラ、斯ウ云フ所ハ能ク研究シテ見テ、二十歳マデ酒ヲ飲ムコトヲ禁ジテモ國家ノ生産力ニ於テ減耗ヲ來タスコトハナイ安心デアルト云フコトヲ認メマシタナラバ、私ハ直グニ此案ニ賛成シヤウカト思ッテ居ルノデアリマス、此二點ヲ能クモ研究セズニ唯案ヲ通過セシメヤウ、ナゼカナラバ毎年衆議院カラ根氣能ク出シテ來ルモノヲ何カ親ノ仇デモアルカノ如ク、私ドモガ遮ッテ居ルヤウニ思ハレルノハ甚ダ氣ノ毒デアルト云フ、サウ云フ輕イコトデ御ツキアヒハ出來ナイ、斯ク申シマシテモ本年ハ餘ホド景氣ガ違ッテ居リマス、即チ捲土重來トカ申シマスルヤウナ有様デ、大ニ敗軍ヲ盛り返シテ居リマスル意氣込ガ見エマスカラ、私ハ全ク討死ダラウトハ存ジマスカレドモ、如何ニモ本案ノ趣旨ニハ賛成シテ居リマスカレドモ、酒類ト云フモノ、定義モ決メズニ内務省ガ安請合ヲシタカラ通スト云フヤウナコトデハ、一向我々議員ト致シテノ責ヲ空シウスルヤウニ考ヘマスカラ敗軍ヲ覺悟デ登壇イタシタ譯デ、ドウゾ、諸君宜シク御酌取りヲ願ヒマス

## 〔子爵會我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵會我祐準君 本員ハ本案ニ付キマシテ委員長ノ報告ノ通り賛成ヲ致ス者デゴザイマス、唯今三宅博士ガコ、デ遺言演說ト自ラ稱シテナサレマシタガナカノ遺言ドコロデハゴザイマセヌ、流石ニ大學者デアッテ種々面白イ御調ベノ段ハ感服イタシマシタ、實ニ澤山ナ御調ベノ結果ヲ我々ニ御聽カセ下サレテ有難ウゴザイマス、サリナガラ御議論ニ於テハ殘念ナガラ賛成ガ出來マセヌ、ト申スモノハ三宅君ハイロノ仰セラレマシタガ、年齡ノコトニ付イテモ仰セラレ、又酒類ノコトニ付イテモ仰セラレマシタガ、其一二ノ……チヨット書取リマシテ覺エテ居ル所カラ申シマスレバ、税ノ事ヲ一ツ仰セラレマシタ、七萬幾ラデアッタノガ十三萬ニナリマシタ、斯ノ如ク喜ンデ納メル税デアルガ、之ヲ此政府ノ金ノ少イ時分ニ止メルト云フコトハ愚ナコトデハナイカト言ハレタ、是ハ喜ンデ出スノカドウカハ三宅先生ニ酒ノ種類ノヤウニ一ツ御調査ヲ願ヒタイモノデ、白酒ニ限ッテ喜ンデ出スカ知ラスガ、酒ノ税ハ隨分、税ヲ逃レル者ガアル、ドウ云フ種類ノ酒ハ逃レル、白酒ニ限ッテ喜ンデ出スト云フコトハ疑ハシイ、三宅君ノ七萬圓ガ十三萬圓ニナルト仰セラレ

ノハ、酒ノ害ノ七萬圓ノ害ガ十三萬圓ニ増シタト言ハナケレバナラヌ、酒ガ害アリト論定シタ以上ハ稅ガ十三萬ニ増セバ害ハ十三萬ニ増シタト云フコトハ何ヨリノ事實デアル、酒ガ害ガ無イト云フコトニ決マレバ、此稅ハ多クナルホド宜シイ譯デアルケレドモ、酒ガ惡ルイコトニ決マッタラ、増スダケハ害ガ増シマスカラ、三宅君モ御醫者デアルカラ、此邊ニ御氣ガ付キサウナモノダト思フ、ソレカラ種類別ケノコトヲ非常ニ御心配ナサレタガ、是ハ内務省ニ御醫者モアルヤウデゴザイマス、又大學ニ三宅先生ノ如キ者ヲ招待シテ此種類ヲ別ケルノハ譯ハナイト思ヒマス、世界中ノ酒ヲ舉ゲテアレハ飲ムカ、コレヲ飲ムカト云フコトニナッタラ、是ハムヅカシイ學問デアリマスガ、日本ニ無イヤウナ酒ノ詮議マデスルノハ、私ハ學者トシテハ結構デアラウガ、政治家トシテハ要ハ無イ、ソナ詮議ヲシタ日ニハ山ノ中ニ行クト猿マデガ酒ヲ造ッテ猿酒トカ云フモノガアルサウダカラ、ソレモ矢張り吟味セナクチャナラヌコトニナル、ソレデ農商務省ナドデハ一向賛成シナカッタノヲ押付ケテ何デモヤルカノヤウニ仰シヤルケレドモ、農商務省ハ政府ノ中デスカラ、政府ガ賛成シタト云ハバ農商務省ハドウシテモ賛成ト見ナケレバナラヌ、但シ括弧デモ附ケテ農商務省ハ此限リニ在ラズト云フコトデモアレバ、御議論モ立ツガ、ドウモ左様ニハ決シテ思ハレス、ソレデ此案ニハ三宅君モ全體賛成デヤ、併シ稅ノ減ルコト、種類ノ不公明ナコト、農商務省ガ不同意カモ知レス、此三點ノヤウデゴザイマスケレドモ、此三點ハ唯今申シマス通り餘リ御心配ノ無イコトデアラウト思ヒマス、年齡ノ如キヲ仰セラレケレドモ、年齡ハ適當ナル所ニ制限ラスルノハ宜シイケレドモガ、私ハ醫者デナイカラ知りマセヌガ人ノ發育ノ都合デモイロ／＼違ヒマセウ、サリナガラ法律ヲ決メルトキハ中樞ヲ取ッテ好イ加減ナ所ニ決メナケレバナラヌ、人ニ依ッテハ十四デハ晚イノモアリ、十五デモ早イノモアルカモ知レヌケレドモ、是ハ仕方ガナイ、是ハ中樞ヲ取ッテ年齡ヲ決メルヨリ外ニ仕方ガナイカラ、是モ別々ニ決メルコトガ出來ヌ以上ハドウモ仕方ガナイ、斯ウ云フコトニナルダラウト思ヒマス、私ハ斯ノ如キ理由ヲ以テ三宅君ノ御反對ニハ大ニ反對ヲ致シテ置キマス

○富井政章君 唯一言デアリマスガ、此席カラ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○富井政章君 唯今、兩君カラ贊否ノ御意見ヲ承リマシタガ、何レモ一應御尤デアルト思ヒマス、併シ私ハ他ノ方面ヨリ此案ニ賛成イタシ兼ネルノデア

リマス、ソレハ斯ウ云フ法律ガ出來マシテモ到底公平ニ行ハレルコトガ出來ナイデアラウト思ヒマス、公平ニ行ハレナイト云フコトハ、十分ニ罰セラレテ宜イ者ガ罰セラレズ、偶々巧ミニヤラナダ一度拙ニヤッタト云フガ爲ニ罰セラレルト云フヤウナ場合ガ頻繁ニ生ズルデアラウト思フ、公平ニ行ハレナイ法律ヲ作ルト云フコトハ法律ノ威信ヲ損ズルコトデアラウト思フ、人民ハ成ルベク法律ヲ尊重シテ行カネバナラヌ、之ヲ守ルト云フ氣風ヲ養成シテ行カネバナラヌ、公平ニ行ハレナイト云フ法律ヲ作ルト云フコトハ大ニ立法ノ威信ヲ害スルコトデアル、私ハ其點ヨリ賛成イタシ兼ネルノデアリマス

○男爵石黑忠惠君 本案ニ付キマシテハ本員ハ年々反對ヲ致シマシタ一人デス、然ルニ本年ハ賛成ヲ致シマシタ、其賛成ヲ致シマシタ理由ハ速記録ニモ掲ゲテゴザイマスガ、本員ガ年々之ニ反對イタシマスル所以ト云フモノハ、斯ノ如キモノハ法律ノ力ニ依ラズシテ行ヘルモノデアル、是ハ本員實行イタシテ居リマスノハ、本員ナドハ二十人ノ家族ヲ有ッテ居リマスルガ、一人モ酒モ煙草モ飲ム者ハ無イト云フ實蹟ヲ有ッテ居リマス、ソレデ本員ガ本年マデ年々之ニ反對ヲ致シテ居リマスルノハ、斯ノ如キコトハ教育家若クハ宗教家ト云フ者ガ荷フベキコトデアル、若シ斯ノ如キコトガ法律デ行ハレルコトニナリマシタナラバ、教育家ヤ宗教家ハ體面ヲ汚サレタト思フ程ノ感ジヲ起シハ致シマスマイカト云フ程ノ感ジヲ私ハ有ッテ居リマス、然ルニ年々此案ニ付キマシテハ教育家若クハ宗教家ガ私ト反對デ年々之ヲ賛成ニナリマス、加之先年發布ニナリマシタル少年喫煙法ノ結果ヲドウカト承ッテ見マスルト、少年喫煙法ノ爲ニ檢舉イタシマシタモノガ或ル府縣ニ於キマシテハ一府ニ於テ一年ニ二萬二千幾ラ、或ル府縣ニ於テハ十四人ト云フ、十四人ト二萬幾ラト云フ差ガゴザイマス、斯ノ如キデハ第一、幼年ヲシテ法律ヲ輕ンゼシムルト云フ思想ヲ起シハ致スマイカト云フ懸念ヲ以チマシテ、本年マデハ反對ヲ致シマシタ、然ル所ガ本年段々承ッテ見マスノニ、教育家モ宗教家モ、此幼年ノ飲酒ヲ止ムルト云フコトハ法律ノ力ニ依ラザレバ、ナカ／＼行ハレヌト云フコトヲ申サレマス、元ト幼年ニ酒ヲ飲マセルト云フコトノ良クナイト云フコトハ、本員ハ固ヨリ之ヲ信ジテ居リマスカラ、自分ノ家庭ニ於キマシテハ之ヲ實行イタシテ居ル譯デゴザイマス、ソレ故ニ本員ハ本年ハ之ヲ賛成イタシマシタガ、賛成イタシマシタニ付キマシテハ、唯今ノ反對ノ御演說中ニゴザイマスル多クノ職工ヲ使ッテ居リマスル者ガ時間ヲ過シマスルマデ職工ヲ使役イタシテ

其終リニ於テ一杯ヲ飲マセルトカ、或ハ傳ヘ承ツテ居リマスノニハ、軍艦デ或

ル過度ノ勞働ヲ致シマスルト、水兵ニ「ウキスキ」ヲ飲マセルトカ云フコト

ハ今現ニ行ハレテ居リマスルコトデゴザイマスガ、是等ノ中ニハ未成年者モ

アルカ知ラヌト考ヘテ居リマシテ、是ハドウナルカト云フコトヲ當局者ニ承

リマシタガ、是ハ此例外デアルト云フ當局者ノ辯解デゴザイマス、速記録ニ

モ載ツテ居リマス、ソレデ唯今ノ職工等ノ勞働イタシマシタ時ニ工場主ガ慰安

イタシマスヤウナコトニ付キマシテハ、右ノ當局者ノ見解デゴザイマスルシ、

且又文部省ノ當局者ニ本員ガ質問イタシマシタノニ、随分イロ／＼ノ學校ノ

様子ヲ見マスルノニ、生徒ニハ喫煙ヲ嚴ニ禁ジテ居ツテ、其禁ジテ居ル教師ハ

口ニ唾ヘ煙管ヲシテ物ヲ教ヘテ居ルト云フヤウナコトモ往々見受ケマスシ、

又學校ナド或ル場合ニハ教師ガ生徒ノ前デ祝日等ニ酒ヲ飲ミマス云フヤ

ウナコトモ見受ケテ居リマス、是等ニ向ツテハ相當ノ訓示等モ出サレマシテ取

締ガ附キマスカト申シマシタ所ガ、此法令ガ出ル以上ハ右等ニ付イテモ十分

ニ取締ノ附クヤウニ教員ニ向ツテモ訓示ヲスルト云フコトヲ明言ヲ致サレマ

シタ、ソレ故ニ本員ハ此案ニ對シテ當年ハ年來ノ反對ヲ抛チマシテ賛成ヲ致

シマシタ、唯今委員長ノ御報告中ニ、語氣ノ中ニ本員ナドガ年來ノ反對ヲ抛

チマシタコトニ付キマシテモ一言及ンデ居リマスヤウデゴザイマスカラ、本

員ガ年來ノ反對ヲ抛チマシタ趣意ヲ一應申上ゲテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 .....  
○議長(公爵德川家達君) 暫ク御著席ヲ請ヒマシテ.....二讀會ヲ開クベカラ

ズト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數  
○議長(公爵德川家達君) 開クベカラズト云フ方ガ多數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、教育調査機關ノ設置ニ關スル建議

案、子爵松平康民君外二名發議、會議、.....建議案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴ

ザリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」  
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

「左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス」

教育調査機關ノ設置ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

大正二年三月十七日

發議者 子爵松平 康民

贊成者 木場 貞長

伯爵正親町 實正

外百五名

貴族院議長公爵德川家達殿

教育調査機關ノ設置ニ關スル建議

文政改革ノ事ハ多年ノ宿題ニ屬スト雖種々ノ事情ハ容易ニ之レカ解決ヲ許

サ、ルモノノ如シ方今内外多事ニシテ國家ノ教育ニ待ツモノ甚多シ教育作

振ノ事豈一日モ忽諸ニ付スヘケンヤ抑我國ノ文教ハ維新以來長足ノ進歩ヲ

爲シタリト謂フモ之ヲ歐米先進國ニ比スルトキハ尙及ハサルコト遠キノミ

ナラス今ヤ弊竇缺陷ノ其ノ間ニ生シテ之レカ刷新ヲ要スルモノ屈指ニ違ア

ラサラントス歷代ノ當局者亦是ニ見ル所アリ屢之レカ解決ヲ試ミタリト雖

四圍ノ事情ニ妨ケラレテ之ヲ遂行スルコト能ハス實ニ困難ノ域ニアリ今ニ

シテ適良ノ方策ヲ講スルニアラサレハ何ノ日カ教育ノ作振ヲ見ルヲ得ンヤ

顧フニ國運ノ隆替ハ國民ノ性格ニ基因シ國民ノ性格ハ教育陶冶ノ力ニ職由

ス夫レ國ニ盛名アリテ實力之ニ副ハス内外多故ニシテ前途未タ必スシモ樂

觀スヘカラサルノ時ニ當テ教育ノ方針尙定マラス議論紛々トシテ歸著スル

所ヲ知ラサルハ實ニ國家ノ深憂ト謂フヘシ故ニ政府ハ速ニ特ニ有力ナル教

育調査機關ヲ設置シ教育ノ主義方針ト其ノ制度トヲ調査セシメ百年ノ大計

ヲ定メラレンコトヲ望ム

理由書

理由ハ本文ニ明ナルヲ以テ之ヲ略ス

「木場貞長君演壇ニ登ル」  
「子爵會我祐準君」此際チヨット委員會ノコトヲ願ヒタウゴザイマス、  
如何デゴザイマス」ト述フ」  
○議長(公爵德川家達君) 會我子爵

○子爵曾我祐準君 私ハ唯今ヨリ豫算委員會ヲ開キタウゴザイマス御承知ノ通り餘日モゴザイマセヌデ、毎日續イテヤツテ居リマスガ、ネツカラ抄取りマセヌニ依ッテ、今日ハ唯今カラ始メタク思ヒマスニ依ッテ、ドウカ御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ノ要求ヲ許可イタシテ宜シウゴザイマス

カ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○子爵曾我祐準君 ドウカ直チニ豫算委員ハ委員會ノ室ニ御出デテ願ヒマス

カ

○議長(公爵徳川家達君) 奥平伯爵ハ何デスカ

○伯爵奥平昌恭君 本員ハ私立學校用地免租ニ關スル法律案ノ特別委員會ヲ是カラ開キタイト存ジマスガ、委員一同退席ヲ致シテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 奥平伯爵ノ要求モ許可イタシテ宜シウゴザイマス

カ

カ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○木場貞長君 諸君、私ハ問題ニナツテ居リマス所ノ建議案ノ提出者ト致シマシテ、提出ノ趣旨ヲ一通リ説明イタシタイト思ヒマス、去ル十七日ノ議場ニ於キマシテ、奥田文部大臣ハ他ノ問題ニ付イテ江木君カラ質問ノアリマシタ

トキ、政府ハ有力ナル教育調査機關ヲ設置スルノ決意デアルト云フコトヲ言

明イタサレマシタ、付キマシテハ今日ニ於キマシテハ本建議ヲ爲スノ必要ハ

無クナリマシテ、之ヲ撤回シテ宜クハナイカトモ思ハレルデアリマセウガ、私

ナドカラ考ヘマスレバ、此事ノ行ハレムトスル今日ニ於テ最モ此建議ヲナス

ノ必要ヲ覺エマシテ 建議甲斐ノアルコトヲ悦ブノデゴザイマス、奥田君ハ有

力ナル教育調査機關ヲ設クル趣旨デアルト云フコトヲ申サレマシタガ、即チ

此建議ト趣旨ヲ同ジウスルモノデアリマシテ、誠ニ満足ニ存ズルノデゴザイ

マス、併ナガラ問題ハ謂ハユル有力ト云フコトニアルノデアリマス、見様次第

デハイロ、ナ方面カラ有力ト云フコトヲ申サレマスルガ、其組織次第ニ依ッ

テハ事ノ成敗ニ至大ノ關係ヲ有スルノデアリマス、萬々一政府ガ政略的ニ之

ヲ設ケマシテ一時ヲ糊塗スルヤウナコトガアリマスレバ、其効果ノ見ルコト

ガ出来マセヌノハ申スマデモナイコトデゴザイマシテ、誠ニ遺憾ノ次第ニナリマスルノデアリマス、現内閣ハ文部大臣ニ奥田君ヲ迎ヘテ居リマスルガ、奥田君ハ教育ノコトニモ精通サレテ居リ、且ツ他ノ方面ニモ御經驗モ深いコトデアリマシテ、眼識モナカ、廣イニ依ッテ誠ニ良大臣トシテ本員等ハ歡迎シテ居ルノデゴザイマスガ、又閣僚ニハ松田君、牧野君ガ居ラレマス、其松田君ハ曾テ一度ハ造士館ノ教頭トナラレテ後ニハ文部大臣ヲ勤メラレテ居リ、牧野君ハ久シク次官ヲ勤メラレテ後ニハ大臣ノ職ニ就カレタコトモゴザイマシテ、教育上ノ事ニハ精通イタサレテ居リマスカラ、教育調査機關ヲ設クル以上ハ、政府ハ誠意ヲ以テ此機關ノ設立ヲ計畫セラル、コト、信ズルノデアリマス、唯併ナガラ政府ノ責任ノミヲ以テ設ケタ教育調査機關トアリマシテハ、今日ノ情況ニ付イテ考ヘマスルニ、種々ナ事情ニ制セラレテ姑息ノ弊ニ陥ルノ虞ナキヲ保シ難イノデアリマス、政府ガ所信ヲ以テ十分ナ事柄ヲ實行シ得ルヤウナ時代デアラナラバ、此教育調査機關ヲ設クル要モ無イノデアリマスガ、實際、文部大臣ノ力ガ微ニシテ教育上ノ難問題ヲ解決スルコトガ出来ナイニ依ッテ是等ノ機關ヲ設クル必要ガ生ジテ參ッテ居ルノデアリマス、ソレデ政府ハ教育調査機關ヲ設クルト云フ意思ハ確カデアリマスルガ、之ガ後援トナツテ貴族院ヨリ十分ナル希望ヲ發表シテ、必ズ有効ノモノニナスコトヲ努メルノガ最モ機宜ノコトデアラウト思フノデアリマス、ノミナラズ政府デ假ニ十分ナル遺憾ナキ組織ヲナサル、コトガ出来タト致シマシテモ、時ノ内閣ノ意見ノミヲ以テ出来マシタ教育調査機關ト致シマシテハ、其基礎ガ堅クアリマセヌ、内閣ノ更迭ト共ニ其運命ガドウナルカ測リ知ルコトガ出来ヌノデアリマス、現ニ今日ノ教育者ノ中ニモ、此調査機關ヲ設クルコトヲ喜バズ、之ヲ呪詛シテ居ル者モ少クナイノデアリマスカラ、貴族院ハ其希望ヲ的確ニ發表シテ容易ニ變改スルコトノナイヤウニ致シ置クコトガ最モ重要ナコトデアアルマイカト思ヒマス、教育ニ關シマシタ所ノ問題ハ當貴族院デハ屢、議ニ上ツテ居リマス、就中、教育諮詢府又ハ調査會ニ付キマシテ、貴族院デハ大ニ意見ヲ闡ハサレテ政府ニ建議ニナリ質問ニナツタコトモアリマスガ、今ヲ去ルコト殆ド二十年、十八年バカリ前デアツタカト思ヒマスガ、高等教育會議ヲ設クルト云フ建議ガアリマシテ、毎年其議ガ貴族院ノ議ニ上ツテ居リマシタガ、明治三十年ニ至ッテ政府ハ遂ニ之ヲ採用シテ高等教育會議ヲ設ケラレマシタ、併ナガラ其高等教育會議ハ所期ノ効果ヲ舉グルコトガ出来ズシテ、甚ダ頼ミ甲斐

ノナキ姿デアリマシタカラ、貴族院ニ於キマシテハ第十四回ト思ヒマスガ、教育調査會設立ノ建議ヲ政府ニナサントシテ此議場ノ議ニ上リマシタ、此議ハ種々委員會等ニ於キマシテ政府トモ意見ヲ交換シ十分研究ノ上、教育調査ニ關スル建議トナリマシテ、而シテ政府ヲシテ調査ノ責ニ任セシメルコトニナツテ居リマス、ソレヨリ致シマシテ累代ノ文部大臣ハ教育ノ刷新ヲ圖ツテ、種々難問題ノ解決ヲ企テラレタノデアリマス、菊池大臣ハ隨分大ナル範圍ニ於キマシテ教育制度ノ改革ヲ企テ、一ノ成案ヲ得ラレタヤウデアリマシタガ、其事遂ニ行ハル、ニ至リマセヌデアリマシタ、又兒玉文部大臣ハ大ナル抱負ヲ持ツテ文部省ニ臨マレ、一大刷新ヲ期セラレマシタノデアリマスガ、是モ職ニ居ルコト數月ナラズシテ匙ヲ投ジテ去ラレ、其後遂ニ久保田君ガ文部ニ坐ラレテ改革ヲ企テラレマシタガ、是モ日露戰役ニ伴ヒ種々ノ事情ノ爲ニ中途ニシテ挫折イタシマシタノデアリマス、其後文政ハ益々振ハズ、種々ノ非難攻撃ガゴザイマシタガ、大體ノ改革ハ殆ド斷念ノ姿ニナリマシテ、部分的ノ改革ナリトモ實行シタイト云フノデ、牧野文相ハ一ノ外國語問題ノ解決ニ付キマシテ大ニ苦慮イタサレマシタガ、ソレスラ結末ヲ告グルニ至リマセヌデゴザリマシタ、即チ十分ナル結末ヲ告グルニ至リマセヌデアリマシタ、其後小松原文相ハ高等學校問題ヲ解決シヤウト致サレマシテ、種々困難ヲ經ラレテ、漸クニシテ高等中學校令ノ發布ヲ見ルニ至リマシタガ、此案ニ付キマシテハ諸君ノ記憶ニ新ナル如ク種々ノ非難ガゴザイマシテ、遂ニ之カ實行ヲ見ルニ及バズ、ツイ數日前ニ無期延期ト云フコトニナツテ居リマス、文部大臣ガ施行ノ時期ヲ定メルト云フコトニナツテ居リマス、教育ノ問題デ解決ヲ要シテ未ダ解決セラレザルモノガ年ト共ニ積ツテ益々多クナツテ居リマスガ、其解決ヲ得タモノハ幾バクモナイノデアリマス、貴族院 政府ニ假スニ十數年ノ歲月ヲ以テシテ教育調査ノコトヲ希望シタノデアリマスガ、今日ニ至ルモ何等成績ナキヲ見レバ、更ニ前議ニ立歸ツテ再ビ調査機關ノ設立ヲ提示スルコトハ自然ノ成行デアラウト思ヒマス、尤モ十數年前ニ希望シタ所ノ、若クハ議論ノアッタ調査會ハ、時勢ノ推移ニ依リマシテ、其儘デ之ヲ實行サレテハ却ツテ益ガ無イカモ知レナイ、寧ロ其調査會ノ組織ハ今日ノ時勢ニ適應スル方式ヲ採ラル、ガ宜イト云フコトハ、是ハ言フマデモナイコトデアリマス、今ヤ幸ニシテ政府ハ本員等ト所見ヲ同ウセラレテ教育調査機關ヲ設クルト云フコトニ決意イタサレタ、其決意ハ誠ニ國家ノ慶事デアリマシテ、紛糾シタル教育上ノ難問

題ヲ解決スル曙光ヲ前途ニ認メルト申シテ宜カラウト思ヒマスガ、唯併ナガラ教育部内ノ空氣ハ未ダ其所マデ進ンデ居リマセヌデアリマスカラ、ナカマダ樂觀スルコトハ出來ナイ、有力ナル教育者ノ中ニモ今日ノ制度ニ満足ヲ表シテ隨喜シテ居ル人モアルノデゴザイマス、今日ノ制度ニ満足シテ居ル者ガ教育調査機關ノ調査ヲ經ルト云フコトヲ望マヌト云フコトハ、是ハ自然ノ人情デアリマシテ、或ハ餘儀ナイコトデアリマセウガ、併ナガラ私ハ是等ノ人タチニ向ヒマシテモ、願ハクハ教育調査機關ノ設立ニ御同意アラムコトヲ望ムデアリマス、今日ノ教育制度ニ満足シテ居ル人タチモ純然ト満足シテ居ルノデハナイノデアリマス、是等ノ人ニハ國家ノ努力ガ教育ニ足ラヌト云フコトハ深ク感ジテ居ラル、ヤウデアリマス、今日マデノ政府ノ爲サレタ所ヲ見マシテモ、内閣組織等ノ場合ニ於キマシテ文部大臣ノ選任ニ深キ注意ヲ拂ハレヌト云フ形ハ往々ニシテ見エテ居ル、又文部大臣トシテ就職スル以上ハ假令有力デアリシ人タチデモ動モスレバ伴食大臣視サル、ノ傾ヲ有シテ居リマス、是モ事實デアリマス、又教育ノ費用ノ如キニ付キマシテハ常ニ其額ノ少キヲ教育界ハ啣チツ、アルノデアリマスルガ、普通教育即チ小學教育費ノ如キニ至リマシテハ、國庫カラ支出スル所ハ幾バクモナクシテ之ヲ總テ市町村ニ轉嫁シテ居リマス、市町村ノ負擔ニ轉嫁シテ居リマスルカラシテ、今日ノ市町村ノ經費ノ大部分ト云フモノハ教育費ニナツテ居リマス、故ニ市町村ノ負擔ヲ輕クスルニハ教育費ヲ節減スルヨリ外ハナイト云フコトニ國論ガ動イテ參ツテ居ルヤウナ次第デ、市町村ノ教育費ガ削ラレテモ他ニ國庫ヨリ支出サル、望ハ無イト云フ位ノ情況ニアルノデアリマス、教育者ノ立場カラ今日ノ情況ニ誠ニ不滿ヲ感ズルト云フハ餘儀ナイ次第デ、教育調査機關ノ設立ヲ望マレヌ人タチモ却ツテ此點ニハ大ナル不滿ヲ懷カレテ居ルヤウデアアル、左様ナ場合デアアルカラ私ハ此教育調査機關ノ設立ヲ喜バレザル人ニ向ツテモ、願ハクハ教育社會ノ輿論ヲモ能ク研究シ得ル所ノ此機關ニ信賴サレテ、此機關ノ調査ニ依ツテ國是ヲ定メテ貫ツテ相當ノ主張ハ容レラル、モノトシテ、此機關ノ設立發展ニ滿腹ノ同情ヲ寄セラレムコトヲ希望シテ已マヌデアリマス、政治界ニ於キマシテハ教育ノ事ニ對シマシテ非難ノ聲ハ屢々聞キマスルガ、其教育界ニ盡シタ所ノ功勞ニ對シテハ、誠ニ紹介スル者ガ少イヤウデアリマス、此場合ニ於テ是等ノ事モ諸君ノ御耳ニ達シ、以テ世上ニ發表モ致シタクハ存ジマスルガ、餘リ會期切迫ノ今日ニ於キマシテ長タラシク是等ノ事ヲ

申シマスルノハ却ツテ如何ト存ジマスカラ略シマスルケレドモ、第一、諸君ニ御記憶ノ喚起ヲ願ヒタイノハ、教育ノ事ハ逆境ニアルニモ拘ラズ長足ノ進歩ヲ爲シテ居ルト云フコトデアリマス、小學校ノ教育ノ如キ内容ニ就キマシテハ種々ノ議論モアリマスケレドモ、今日津々浦々マデ教育ノ普及シテ讀書力ノ擴ガツテ居ルト云フコトハ、確ニ教育ノ賜モノデアアル、日露戰爭ノ時ナドモ舉國一致、彼ノ強敵ニ當ツテ古今未嘗有ノ大捷ヲ得ルコトガ出來マシタノハ、恐ラク新聞紙ノ力モ少キニ非ズト思フノデアリマスガ、此新聞紙ガ廣ク全國ニ行渡ルヤウニナリマシタノハ、明ニ讀書力ノ増加イタシマシタ結果デアリマス、又高等ナル教育モ日本人ノ手デ今日ハ皆之ヲ辨ジテ居リマスルシ、土木、建築、造船、機械、其他百般ノ工藝等ニ至リマシテモ、日本人ノ手デ今日之ヲ處理シテ遺憾ナキニ至ツテ居リマスルノハ、全ク教育ノ力デアリマスルカラ、之ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シテ至當ノコト、思フノデアリマス、併ナガラ之ト同時ニ、教育界ニ於テハ其闕陷ノ少カラヌコトヲ十分ニ認メテ貫ハナケレバナラス、私ガ此場合ニ於キマシテ少シ餘計ナコトデアルカノヤウデゴザイマスガ、教育界ノ意見ノ一端ヲ短簡ニ御紹介シタノモ、實ハ教育者ガ己ノ闕陷ヲ十分ニ認メテ貫ヒタイカラデアアル、教育上ノ事ニ付キマシテ今日闕陷ノ少ナクナイト云フコトハ著シキ事實デアリマスカラ、十分ニ之ヲ認メテ貫ヒタイノデアリマスガ、其闕陷ノ如何ナルモノデアアルヤト云フコトハ短簡ニハ申上デラレマセヌ、短簡ニ申上デラレナイトスルト澤山ニ言ハナケレバナラス、澤山ニ言ヘバ時期切迫ノ今日、殊ニ唯今十二時切迫ノ場合ニ、却ツテ此案ノ贊成ヲ熱心ニ仰グニ御迷惑ト思ヒマスカラ、是ハ個人ノ意見トシテ他ニ發表ノ途モアラウト思ヒマスカラ、今日ハ殊更之ヲ略シマスルノデゴザイマス、唯諸君ニ御承認ヲ願ヒタイノハ、教育ノ大問題ハ多々アツテ之ヲ解決スルコトハ容易デナイニ依ツテ、文部大臣モ之ヲ解決シ得ヌノデアアル、累代ノ大臣モ幾ラ努力シテモ此問題ヲ解決シ得ヌノデアアル、ソレ故ニ教育調査ノ機關ヲ設ケテ文部大臣ノ力微ナリト云フ闕陷ヲ補フノデアアル、斯ウ云フ御承認ヲ得タイノデアリマス、サテ教育調査機關ノ形式ニ付キマシテハ今日政府ガ此機關ヲ設ケルト云フ決意アル場合ニ於テ之ヲ申述ブルト云フコトハ極メテ必要ノコト、存ジマスノデアリマス、併ナガラ教育調査機關ハ元來行政組織ノ一部ニ屬スルモノデアリマスカラ、立法府トシテ貴族院ガ餘リ立入ッテ具體的ニ註文ヲ爲スコトハ寧ロ避ケル方ガ穩デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ總テ具體的

註文ヲ爲スコトハ避ケマスルデアリマスガ、併ナガラ本員等ガ此機關ニ期待スル所ノ大體ノ趣旨ヲ述ベテ政府ガ其趣旨ニ添ハレムコトヲ望ムコトハ闕クベカラザルコト、想フノデアリマス、教育調査機關ハ第一、内閣ノ更迭ト共ニ變動ヲ受ケナイヤウニ一ノ定マリタル方針ニ依リマシテ繼續調査シ得ルヤウニ致シタイ、文部大臣ガ當然己ノ權内ニ屬スル所ノ教育事項ヲ刷新スルコトガ出來ヌト云フノハ、大臣ノ任期ノ保障ガナク、内閣ノ更迭ト共ニ進退スルガ故ニ、其主張ヲ實行スルノ暇ガナク、或ハ事實ニ於テ其暇ガアル場合ガアリトスルモ、其就職ノ當時ハ何時マデ續クカト云フコトガ分ラヌカラ、之ガ大故障トナツテ居リマスルニ依ツテ、此度設ケラレル教育調査機關ハ、永續的ノ性質ヲ有タシノナケレバナラスト云フコトハ言フマデモナイト思ヒマス、又教育調査機關ハ讀シデ字ノ如ク調査機關デアリマシテ議定機關デハナイ、ソレ故ニ政府ハ必シモ其決議ニ盲從スル義務ハ無イ譯デアリマスガ、併ナガラ其組織ハ成ルベク完全ニ致シテ世ノ信望ヲ有スルヤウニ致シ、容易ニ其決議ガ變更サレルヤウナコトガ出來ヌヤウナ體制ヲ作ルコトガ最モ必要ナコトデアリマス、教育ノコトハナカ／＼議論ノ爲シ易キコトデアリマシテ、銘々意見ヲ有スルコトデアリマスガ、斯様ナ機關ガ出來マシタ以上ハ、ソコデ十分ナル調査ヲシテ出來上ツタモノハ、謂ハバ教育上ノ國ニモ見テ、其方針ニ依ツテ教育施設ノ進ムヤウニナルコトハ最モ望マシイコト、存ジマスノデアリマス、元來教育調査機關ヲ設ケル趣旨ハ文部大臣ガ專横ニ流レテ過リ爲シハシナイカ、氣儘ヲ働キハシナイカト云フコトヲ掣肘シ萬一ノ過誤ヲ防グト云フ趣旨デハナク、當局大臣ノ力ガ微ニシテ解決セヌ所ノ問題ガ澤山アルニ依ツテ、此解決ノ責ノ一部ヲ負ハシメル趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、自ラ調査シ自ラ發案スルノ權能ヲ有セシムルコトモ、是亦己ムヲ得ヌコトダラウト思ヒマス、若シ之ヲ單純ナル諮詢機關ヲ以テ取扱ヒマシテハ、假令發案權ヲ許シテアリマシタ所デ、原案ト云フモノハ文部當局ヨリ發スルノ外ナイコトニ立至ルノデアアルガ、左様イタシマシテハ今日ノ場合ト幾ラモ違フコトハ無イ、文部大臣ガ自ラ腹ヲ決メテ屬僚ヲ指揮シテ一ノ成案ヲ作ッテ之ヲ此調査機關ニ諮詢スルト云フ手續ヲ經ルヤウナコトデハ、文部省ノ爲ニ却ツテ一ノ難關ヲ拵ヘルニ過ギヌノデアアル、今マデサヘモ文部省ハ内務大藏兩省ヲ始メトシ法制局樞密院ナドノ機關ヲ經ナケレバナラズ、又内ニハ高等教育會議ガアリ、又部内ノ種々ノ學校ノ意見ナドモアツテ、非常ナ掣肘ヲ受ケ、之ガ爲ニ秩序ア

ル改革モ爲シ得ヌ事情モアルノデアリマスルノニ、又此上ニ一ツ文部大臣ガ調査シタ成案ヲ諮詢シテ、議論ヲ闘ハスヤウナ難關ヲ作ルノハ、事ニ益ナキノミナラズ却ツ害アルモノト思フノデアリマス、教育調査ノ事ハ法典ノ調査ナド、ハ少シク事情ヲ異ニシテ居リマシテ、學者ヤ官吏ノ片手仕事ト致シテ爲シ遂ゲ得ルコトデハナイノデアリマス、十分責任アル專任ノ官吏ヲ置キマシテ、専心此事ノ調査ニ著スルニアラズンバ、到底其效ヲ舉グルコトノ出來スト云フコトハ、是亦明瞭ノコトデアラウト思ヒマス、是ハ少シク申過ギルカハ知レマセヌガ、是等ノ機關ニハ自ラ貴衆兩院議員トカ在野ノ教育家ナドヲ加ヘル都合ニナツタ方ガ宜カラウカト思フノデアリマスガ、左様ナ場合ニハ成ルベクソレ等ノ人タチガ十分ナル責任ヲ執ルダケノ待遇ヲ國家ハ致スガ相當デアラウ、名譽ノ待遇ノミヲ與ヘテ置キマシテハ兎角人情ト致シテ深ク其事ニ注意セズ、稍、無責任ノ結果ニ終ルコトハ往々ニシテ見ル所デアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテモ政府ハ十分ニ考慮ヲ盡サレムコトヲ望ムノデアリマス、教育調査機關ハ國家ノ大體ヨリ見マシテモ、帝國教育ノ制度ト方針トヲ調査セシメムトスルノデアリマスカラ、最モ之ニ關係スル人タチノ人選ニ注意ヲ要スベキコトデアリマシテ、教育者ニ偏重スルコト無キヤウニ希望スルノデアリマス、殊ニ高等教育會議ニ於ケル如クニ教育並ニ其他教育關係ノ各部ノ代表者ヲ集メテ代表會議ヲ開クヤウナコトデハ、到底健全ナル全局ニ通ズベキ調査ヲ爲スコトニ至大ノ故障ヲ生ジマスルコトガ、是マデノ實驗ニ照シマシテモ明瞭デアリマスカラ、左様ナ誤リタル組織ノ出來ザルヤウニ、是亦希望ヲ致スノデアリマス、終ニ臨ンデ一言イタシマスルノハ、教育調査機關所屬ノコトニ付イテハ立法部トシテハ別ニ註文ヲ致シマセヌ、併ナガラ文部大臣ノ力ガ不十分デアルニ依ツテ、今日マデ教育ノ刷新ヲ行フコトガ出來ズ、改革ヲ爲スコトガ出來ナカッタト云フコトニ顧ミラレテ、此機關ヲ其力ノ無キ文部大臣ノ部下……配下ト爲スガ如キコトニ至ラザルコトハ言フマデモナイコト、思ヒマスガ、特ニ此事ヲ希望シテ置キマスル、本建議ノ本文ニ政府ハ速ニ特ニ有力ナル調査機關ヲ設ケラレムコトヲ望ムト云フコトニナツテ居リマスガ、此「特ニ有力」特ニ「二字」ニ政府ハ十分御注意クダサラムコトヲ望ンデ置キマスル、本案ハ諸君ノ間ニモ十分御研究ガ既ニ今日マデ有ルコト、信ズルノ理由ガゴザイマスガ、會期切迫ノ今日デモゴザイマスルカラ、成ルベク速ニ御賛成ヲ得マシテ可決ニ至ラムコトヲ願フテ置キマス

## 〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(奥田義人君) 最早時刻モ大分迫ッテ居リマスル場合ニ當リマシテ、茲ニ各位ニ御邪魔ヲ致シマスルノハ私ニ於キマシテハ甚ダ遺憾ニ存ジマスケレドモ、此教育調査機關ノ設置ノコトニ關シマシテ唯今本場君ヨリ御辯明ニナリマシタル二三ノ點ニ付イテ政府ノ所見ト異ナル所ガアルニ依リマシテ、ソレ等ノ點ヲ一應申述ベテ置キタイト考ヘマス、結論ト致シマシテ政府ガ此教育調査機關ヲ設ケルト云フコトハ、一昨日モ本議場ニ於テ私ノ述ベマシタ通り、政府モ既ニ其決心ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ唯今本場サンノ御辯明ニ依ッテ見マスルト云フト、政府ガ此教育調査機關ヲ設クルノハ文部大臣ガ微力ナルガ爲ニ其微力ヲ補フノ機關トシテ設クルト云フトノ御趣意ノヤウニ承リマシタ、如何ニモ私如キ微力ナル者ガ其局ニ在リマシテ教育上ノ此重大ナルコトニ關シマシテハ或ハ先輩ノ指導ニ仰ガナケレバナラヌコトモアリマスルシ、又各位ノ御教示ヲ受ケナケレバナラヌコトモ多クアルノデアリマス、サリナガラ政府ガ此機關ヲ設クルコトヲ必要ト認メマシタノハ決シテ文部大臣ノ力ノ強弱如何ニ依ッテ之ヲ決シタノデナイト云フコトヲ御承知ヲ請ウテ置キタイノデアリマス、然ラバ何デアルカト申シマスルト、教育ノコトハ如何ニモ事重大デアッテ國家百年ノ計ヲ爲サナケレバナラヌ事柄デアアル、當局如何ニ有力デアリト雖モ、當局如何ニ萬能デアリト雖モ、國家百年ノ計ヲ爲ス所ノ此重大ナル問題ヲ解決スルニ當リマシテハ、經驗アリ達見アル所ノ諸氏ノ意見ヲ徵シ審議ヲ盡シテ過チナキヲ期シタイト云フコトガ、政府ノ望ム所デアアルノデアリマシテ、假令有力ナル大臣當局アリト雖モ、尙ホ此調査機關ヲ必要ト致シマスルノデアリマス、現ニ茲ニ事長キニ涉ッテ甚ダ相濟マヌヤウデアリマスルケレドモ、從來ノ狀態ニ付イテ之ヲ見マスルノニ、往々ニシテ教育ノ方針ト立法ノ方針ト統一ヲ闕クト云フヤウナコトガアリマスルノデ……確カニアルト私ハ信ズル、今其例ヲ舉ゲテ見マスルト云フト、例ヘバ教育ノ方針ト致シマシテハ、家族制度ノ存續ヲ圖リマシテ、家ヲ大切ニシ、祖先ヲ大切ニシナケレバナラヌト云フコトヲ方針トシテ、現ニ中學ノ教授要目ニモ其事ガ重要ナルコト、シテ掲ゲテアルノデアリマス、是ハ各位ニ於カセラレテモ御承知ノコト、信ジマスル、然ルニ他面ニ於テ此他ノ法律ヲ見マスルト云フト、或ハ相續稅ト云フ稅法ガアリ、或ハ華族方ニ付キマシテハ華族世襲財產法ト云フヤウナモノガアリマス、此華族世襲財產法

デアルトカ、或ハ又相続税法デアルトカ云フヤウナモノト、家族制度ノ存続ヲ以テ我國ノ社會組織ノ基礎トシ、又國體ト重大ナル所ノ此社會制度ノ存続ヲ圖ルノ趣意ト、果シテ能ク統一ヲシテ居ルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、家督相続ハ私ガ申スマデモナク家ノ存続ヲスル所以デアリマス、家ヲ存続スル所以デアル所ノ家督相続ハ遺產相続ト同様、ナカ／＼重大ナル税ガ課セラレテ居ル、實際ノ状態ニ付イテ之ヲ見マスル所云フト、二三度一家ニ戸主ノ更迭ガアリマシタトキニハ家ハ遂ニ破滅セザルヲ得スト云フヤウナ結果ヲ見ハセスカト云フコトヲ甚ダ恐レマス、一面ニ於テハ家ノ存続ヲ圖ルコトヲ教育ノ方針トシ、一面ニ於テハ斯ノ如キ制度ガ成立ヲ致シテ居ル、又華族世襲財産法ヲ見マスル所、華族世襲財産法ノ必要ナルコトハ私ドモ固ヨリ認メテ居ルデアル、然レドモ一度、世襲財産トシテ設定ヲ致シマシタ所ノモノハ之ヲ解除スルコトガ出來スト云フコトニ相成ツテ居ル、然ラバ茲ニ一朝一家ニ不幸ガアリマシテ重イ所ノ税ヲ拂ハナケレバナラスト云フ時ニ、其家ニ拂フベキ所ノ現金ガ無イト云フトキハ必ズ融通ヲシナケレバナラストノデアアル、融通ヲスルノニハ世襲財産ニ組入レテアリマスル所ノ其財産ノ處分ヲスルコトヲ禁ジラレテ居リマスルカラ之ヲ融通ノ目的物ト爲スコトモ出來得マセヌ、其結果ト致シマシテ高イ利子ヲ拂ツテ而シテ金ヲ融通ヲ致シテ税ヲ拂ヒ、其結果ハ遂ニ一家ノ困難ヲ來タスト云フヤウナ情況ヲ見テ居ルデハナイカト私ハ信ズル、彼是レ此教育上ノ方針ト他ノ制度ト、即チ今御話ヲシタ相続税法デアルトカ、華族世襲財産法デアルトカ云フモノト比較シテ見マシレバ、一見矛盾ヲ致シテ居ルト云フコトヲ明言セザルヲ得スト信ジマス、又他面ニ於テ民法ヲ御覽ニナリマスル所云フト、民法ノ編別ハ御承知ノ通りニ第一編ニ總則ヲ置イテ第二編ニハ物權、第三編ニハ債權、而シテ第四編親族、第五編相続ト、斯様ニナツテ居ル、此編別ハ言フマデモナク近世ノ歐羅巴、謂ハユル獨逸編別法ニ據ツタモノデアリマシテ、尤モ此一般法タル所ノ財産ノコトヲ前キニ置イテ、特別法タル所ノ親族相続ノコトヲ後ニ置ク、斯ウ云フコトノ主義デ立テラレテ居ルト信ジマス、成ルホド是モ一理アルノデアリマスケレドモ、我國ハ既ニ諸君モ御承知ノ通り、又教育ノ方針トシテ定メラレテ居リマスル通りニ、家ノ制度ニ重キガ置イテアル、家ノ制度ニ重キガ置イテアル此社會ノ組織、其家ノ制度ハ、國體ト最モ密著ナル關係ヲ有ツテ居ル所ノ制度デアルト云フコトハ私ハ疑ヒマセヌ、トコロガ此家ノ制度ハ民法中何レノ

部分ニ定メテアルノデアルカト申シマスレバ即チ親族編中ニ定メテアル、第四編ニ定メテアル、翻ツテ近時出來マシタ所ノ瑞西ノ民法ヲ見マスル所云フト、瑞西ハ御承知ノ通りニ共和國デアツテ極端ナル個人主義ノ國デアリマス、其民法ノ編別ヲ見マスル所第一番始メニハ人格法、次ニ親族法、次ニ相続法ヲ持ツテ來マシテ、財産ニ關スル所ノ事柄ハ民法中ノ最後ニ置イテ、而カモ其親族編ヲ見マスレバ家長權ヲ或ル程度ニ認メテ居ル、個人主義ノ國デアツテ或ル程度ニ家長權ヲ認メ、又或ル範圍ニ於キマシテ家產制ヲ認ムル、是ハ或ハ瑞西ノ國情若クハ沿革、其他ノ事情ガアツテ近世ノ歐羅巴ノ趨勢ニ逆ラウタル所ノ此民法ガ出來タノデアルカモ知レマセヌ、委シクハ知リマセヌケレドモ、一見私ドモノ見マシタ所デハ、ドウシテモ歐羅巴ノ今日ノ状態ト云フモノガ、極端ナル個人主義ニ奔ツテ、其極端ナル個人主義ノ弊ニ堪ヘザル所ノ反動トシテ生ジタ此民法デハナイカト私ドモハ信ジマス、然ルニ我ガ民法ハ之ニ反シマシテ、家ノ組織、家族其外從來ノ慣習ヲ存続スル所云フコトハ、固ヨリ骨子トハ致シテ居リマスルケレドモ、大體ノ本意ガ個人ニ取ツテアルノデアアル、家ノ財産モ認メラレテ居ラナケレバ、又瑞西民法ノ認メテ居ル程ノ家長權ト云フモノヲ民法ニハ認メテナイ、是等ハ果シテ教育ノ方針ト能ク調和ヲ得テ居ルモノデアルカ如何デアルカト云フコトハ、私ハ甚ダ疑ヒマスルデアリマス、政府ハ即チ之ヲ疑フト申シテハ少シ語弊ガアリマスガ、私ガ甚ダ疑フト申スノデアリマス、斯ノ如キ状態デアリマシテ、ドウシテモ今日ノ場合ニ於テ此教育ノ方針ト他ノ立法ノ主義トノ統一ヲ圖ラナケレバナラスト云フコトハ教育ノ任ニ膺ル所ノ者ハ實ニ從フ所ニ迷ハザルヲ得ヌ有様ニナツテ居ルノデアリマス、是等ノ事ヲ能ク調査シテ教育ノ方針ヲシテ誤ナキヲ致サシムルニハ、單リ當局ノミノ考ヲ以テ決スルコトハ出來マセヌ、ナカ／＼重大ナル問題デアアルニ依リマシテ、朝野ノ卓見經驗アル所ノ其諸氏ノ御意見ヲモ十分ニ徴シ、互ニ審議ヲ盡シテ決シタイ、斯ウ云フノガ是ガ教育調査機關ヲ政府ガ設ケムトシマス所ノ根本ノ趣旨デアリマス、如何ニモ必シモ今日マデ解決セラレズニ居ル所ノ教育ノ學制上、即チ學校ノ聯絡問題トカ、年限問題デアルトカ、教科書問題デアルトカ云フ事バカリデハナイ、斯ノ如キ重大ナル問題ガ現ニ存在シテ居ルト云フコトヲ當局ニ於テハ認メマスノデアリマス、ソレ故ニ政府ハ今回教育調査機關ヲ設ケテ是等ノ問題ニ付イテ十分審議ヲ盡シタイト云フノデアリマス、決シテ文部當局ノ力ノ強弱ヲ標準トシテ此

機關ヲ設ケル趣意デナイト云フコトヲ玆ニ言明イタシテ置キマス

○木場貞長君 單簡デゴザイマスカラ此所デ御許シテ願ヒマス……今奥田文部大臣ガ政府ノ所見ヲ御示シニナリマシタガ、大體ニ於キマシテ言葉ガ不十分ノ爲ニ能ク通ジマセヌダツカモ知レマセヌガ、我々ノ意見ト違ッテ居ラスノデアリマス、私ハ文部大臣ノ力ガ足ラナイ爲ニ設ケルト申シタノデハナイ、是ハ教育界ノ内情ヲ能ク承知シテ居リマス故ニ、是マデノ歴代ノ文部大臣ガ解決セムトシテ解決シ得ラレナカッタト云フコトガアルニ依ッテ、即チ文部大臣ノ手一ツデハ之ヲ解決スルコトハ出來ナイト云フ趣意デ申述べタノデアリマス、今文部大臣ノ御説明ニ依リマシテ、之ノミナラズ……教育ノ事ヲ慎重ニ議スル必要ガアルノミナラズ、ソレヨリ他ニ大ナル問題ガアル爲ニ之ヲモ併セテ議スル目的デアルト言ハレタノハ、是ハ誠ニ結構ノコトデアリマス、自然ノ結果ト致シマシテ、此機關ノ十分ナル權能等ヲ有スルコトハ疑ハヌノデアリマス、至極満足イタスノデアリマス、私ガ文部大臣ノ力ガ足ラヌ爲ニト申シタノハ、現文部大臣ノ力ガ無イガ爲ニト云フノデハナクシテ文部……教育部内ノ情況ガ如何ナル大臣ガ出テモ、其大臣ノ力デハ到底解決スルコトガ出來ヌカラ、斯様ナ建議ヲ要スル次第デアルト云フコトヲ申シマシタニ過ギマセヌ、大體ニ於キマシテハ奥田君ノ御趣意ノ點ニ於テ違フコトハナイノデアリマス、尙ホ序ナガラ申シマスガ、即チ本建議案ニ付キマシテ賛成ヲ致シ呉レラレタ方々ノ多數ノ意見ハ、内閣ノ所屬ヲ希望スルト云フコトデアルト云フコトヲバ言明シテ置キマス、勿論此案ノ提出ノ理由トシテ政府ニ註文スルノデハアリマセヌガ、多數者ノ意志ハ玆ニ在ルト云フコトヲ附加ヘテ置キマス、終ニ臨ミマシテ申シマスガ、時日……會期切迫ノ今日デアリマスカラ、今文部大臣ノ申サレタ趣意ハ私ニ於テモ大體ニ於テ反對ノコトモ無イノデアリマスカラ、願ハクハ即決ヲ以テ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○石渡敏一君 唯今、木場君カラ本案ニ就イテ、調査機關ヲ設ケムトスルニハ文部大臣ノ下ニ置カズシテ内閣ノ下ニ置キタイト云フ御希望ガ出テ居リマスガ、私ハ此案ノ建議ニハ賛成ヲシテ居ル者デアリマス、賛成署名ハシテ居リマスガ、其御意見ハマダ承ラナカッタノデアリマス、恐ラクハ多數ノ人モ或ハ其意見ハ有タレナイデアラウト思フ、又此文面デソコマデノ意見ヲ含マセルト云フコトハ困難デハナイカト思ヒマス、是ハ木場君一個ノ御意見トシテ、或ハ賛成サレテ居ル方々ノ一部ノ意見トセラレテハ如何ナモノデアリマスカ、

若シ内閣ニ此機關ヲ附ケルト云フコトノ御意見デアラナラバ明瞭ニ一ツヤツテ下サラヌト賛成シニカラウト思ヒマス

○木場貞長君 私ハ明ニ申シタ積リデアリマス、本會ノ意見トセラレタイト云フ希望ハ言ハナイ、併ナガラ本案ヲ賛成シテ居ル人タチ多數ノ意見ハ内閣所屬ニアルト云フコトガ希望デアル、是ハ斷言シテ宜シイ、斯ウ申シタノデアリマス、ソレデ木場一個ノ意見トシテハ、マダソレヨリ違ッタ考ヲ有ッテ居リマスケレドモ、多數者ノ意見ハ勿論内閣所屬ノモノトシテ置クト云フコトヲ明ニシテ置クト云フコトガ便利ダラウト思ヒマシテ、此事ヲ附加ヘマス、決シテ本案ノ決議トシテ希望スルノデハアリマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、本建議案ヲ可トセラレマス諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第、御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後零時八分散會